



長野県北信地区 (軟式野球競技)の地域移行事例

JHSみゆき野軟式野球クラブ監督・事務局
長野県飯山市立城南中学校 安川輝壘

概要

I. **JHS**みゆき野軟式野球クラブ の地域移行

- 地域移行の経緯
- クラブ化するまでの動き
- クラブ化したことのメリット
- 現状の課題

II. 長野県北信地域（軟式野球競技） の地域移行の取り組み

- 長野市の取り組み
- 千曲市の取り組み
- 地域全体の現状

III. 最後に

- これからの地域移行への願い



飯山市



Iiyama City
NAGANO JAPAN

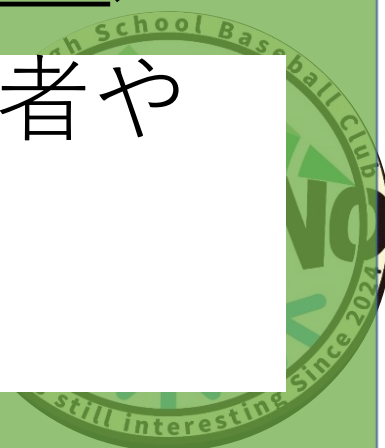


飯山市HPより [飯山市公式サイト | トップページ \(city.iiyama.nagano.jp\)](http://city.iiyama.nagano.jp)

地域移行をすすめた経緯

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

- テレビや新聞などのメディア報道による「部活動地域移行」の言葉の一人歩き
- 長野市は令和7年度末に運動部活の発展的転換を目指す（※平日、休日ともに地域移行する方針）
- 現場の教職員が見通しを持つ前に、保護者や生徒からの問い合わせ
= 部活動がなくなるという不安感が先行



地域移行をすすめた経緯

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

- 勤務先の人事異動のタイミング
 - ・・・このまま移動して、今活動している選手たちはどうなるのか
- 生徒数の減少や部活動離れによる競技人口の減少
 - ・・・自分に合ったレベルで競技を続けたい、子どもがやりたいことを思いっきりやれる環境を維持できるのか
- 次年度の1年生に対して
 - ・・・令和8年度の休日完全移行（長野県）は、次年度の1年生（現中学1年生）が3年生のタイミングのため事前に説明が必要ではないか。

地域移行までの動き

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

ターニングポイント

市内の硬式野球クラブ(飯山シニア)指導者から連絡

私との関係

- 中学時代所属していたクラブチームの当時監督
- 現在市役所職員として、長年地域の野球に携わる
- 総合的な学習の時間の街づくり学習で協働・協力
- 学校施設借用等で連絡を取り合うなど

地域移行までの動き

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

その後の動き

- 市教育委員会（教育長）へ再度提案と認可、学校長へ確認
- 硬式クラブ後援会、部活動保護者会長との懇談と承認
- 硬式チーム、軟式チーム選手とのヒアリング
- 硬式チーム、軟式チーム保護者会とのヒアリング
- ヒアリングで出てきた懸念事項を検討
- 保護者全体会の承認

地域移行までの動き

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

- ヒアリングで出てきた懸念事項を検討

生徒から…指導者(監督)は先生から変わってしまうのか？

それによって練習や試合の雰囲気も変わってしまうのか？

練習場所や練習時間が変わるのか？など

保護者から…チームの雰囲気が変わってしまうのか？

保護者の経済的・時間的負担が今より大きくなるのか？
など

地域移行までの動き

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

- ヒアリングで出てきた懸念事項を検討

生徒と保護者への説明内容

- 指導してくれる大人が増えることなどのメリットを説明
- 費用負担は令和8年までは現状の保護者会費のみで維持
(ただし、令和8年からはおおよそ月3000円を月謝として集金)
- 初期費用(新ユニフォーム代)などの目安
- 現状のチーム理念と方針の提示と今後のチームもこの指針に
そって活動を行うことを説明

地域移行までの動き

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

- 学童チームとの交流会
(クラブ体験会の企画・保護者説明会)
- 地域指導者の募集と呼びかけ
(チーム理念を伝えて)
- 新チームのユニフォーム作成
- チーム支援企業をお願い
- 指導者資格の取得、審判資格の取得
- 中体連事務局への申請、認可

みゆき野軟式野球クラブ



無料体験会のお知らせ

体験会スケジュール

体験練習会	体験練習会	体験練習会・入会説明会
11月29日(土)	2月22日(日)	3月22日(日)

時間：8:30～12:30 場所：飯山市立城南中学校グラウンドまたは室内練習場

水筒・帽子・防寒着。持っている方はグローブ、動きやすい服装でお願いします。また雨天時は室内での活動となりますので、内履きをご持参ください。

対象 小学校6年生 **未経験者大歓迎!!**

申し込み方法 右記QRコードより申し込みをお願い致します。



クラブ公式INSTAGRAM、HPで試合結果や日々の練習の様子を公開しています！是非ご覧ください。

✉ MIYUKINO.R.B.C@GMAIL.COM



地域移行までの動き

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

- 4月クラブ発足会と入会式
 - 新入生 21 名が入会
 - 地域指導者 6 名(現在 8 名)
 - 協賛企業から寄付
 - 市の施設(市営球場を減免)
 - 市校長会の承認を受け、令和 8 年までは教員は部活動の延長として活動が可能

発足時苦慮したこと

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

- 保護者への説明責任。教員の立場でどこまで説明して良いか。地域移行の責任の所在。
- 初期費用（ユニフォーム代や指導者保険代）の捻出
- 他地域部活動チームとの連絡連携（先走らないように）
- 市行政、市校長会、所属学校との連携。（窓口は？）
- 人材、活動場所の確保。（誰にどのような手続きで？）
- 生徒が不安感を持たないように、経過を伝えていく

地域移行のメリット

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

- 学童指導者がコーチとして参加していただけたことで、学童から中学校まで一貫した指導体制が可能（選手理解）。
- 指導者が増え、初心者への丁寧な指導が可能。地域で活躍する専門技術を持った方の参加でレベル別に指導でき、選手のニーズに対応。（競技力向上）
- 地域の大人と関わることで、長い目で生涯スポーツの基盤としても機能。本当の意味で地域に根付いた関係へ。

地域移行のメリット

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

• 硬式部（飯山シニア）との連携

1. 硬式部・軟式部の交流会（JHSみゆき野ベースボールアカデミー）

飯山市出身で、高校野球・大学野球・社会人野球で活躍されている方を講師に呼び、硬式・軟式の中学生を対象に技術講習会を行っている。

またその中で、M号球を使用して、硬式部と軟式部の交流試合を行い、交流を図っている。



地域移行のメリット

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

• 硬式部（飯山シニア）との連携

2. 練習場所の確保

どちらも市の管理場所となるが、硬式部は飯山市営球場をメインとし、軟式部は飯山市立城南中学校のグラウンドをメインに活動をしている。しかし市営球場は他団体の利用や諸大会が開催されると活動が出来なかったりしていた。

連携をしたことで、軟式部が使用しない日は連絡を取り合いながら城南中学校のグラウンドを利用している。また軟式部も大会前などは飯山市営を借りて、球場練習をさせていただいている。

地域移行のメリット

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

• 硬式部（飯山シニア）との連携

3. 学童・硬式・軟式の交流イベント （北信野球の日）

毎年、野球協会主催のイベント「北信野球の日」の一環として、小中交流会を行っている。その際に、硬式・軟式の中学生が中心となって、小学校6年生を対象に交流を図り、小中連携に繋がるようにしている。硬式・軟式で連携を図ったことで、より一体となってイベントの企画・推進が行えている。



地域移行のメリット

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

• 硬式部（飯山シニア）との連携

4. 今後の展望

現在は年度末の総会を共に開催したりする他、先の資料のような「選手間の交流会」や「練習場所の協力体制」といったことが中心となっているが、今後は軟式部・硬式部の指導者間の交流や春先の審判講習会などを重ね、運営面での協力体制が実質的にできると、互いに指導者・保護者の負担感の軽減につながるのではないかと考えている。今後も互いに協働し合いながら、飯山市全体の野球熱の向上を図っていく。

地域移行後の課題

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

- 地域指導者の安定的な活動参加

= 現状、平日参加は難しい。農家の方の繁忙期は土日も厳しい。

- 広域地域からくる生徒が平日参加する際の送迎

= 現状は平日は「部活動」として各校で活動し、週末は「クラブ」として1 1時間以内で活動（市内バスの運行が可能か交渉中）

地域移行後の課題

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

• チームの連絡手段

= 月の予定表や試合の引率計画等を全ての学校に送り、地域指導者、保護者へ周知。地域指導者になった場合、可能か？

• 活動備品の管理

= 備品は学校施設で管理しているが、今後はどうなる？

• 指導者の手当てや保険、交通費など

= 受益者負担とはいうものの、低負担が学校部活の良さでもあったはず

課題を解決した先に

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

• 教員の“やりがい”と“負担軽減”の両立

= 指導の負担を分担することで、競技を通じた生徒の成長を感じつつ、自分時間をつくれる余裕が生まれる。移行期の今、生徒のために移行に関われば負担は増える。仕方ない。

• より深まる地域と子どもたち

= 地域をつくる一人として、地域に生きる子どもたち。地域の大人たちとの関わりを通して、地域に貢献できる人材へ

II. 長野県北信地域（軟式野球競技）の地域移行の取り組み

長野県野球協会の存在

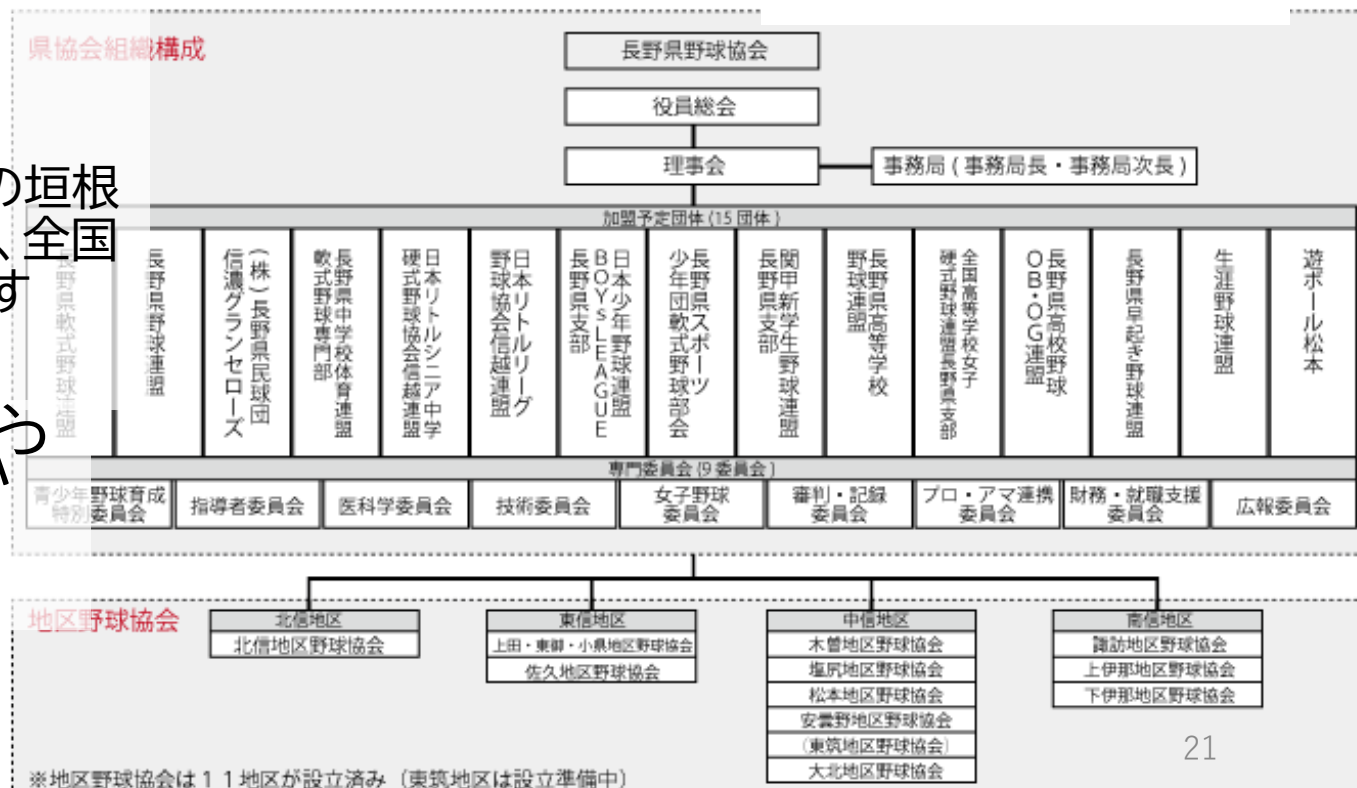
野球協会QRコード



長野県内の野球関係者 でつくられた組織

県内の15野球団体がプロとアマ、硬式と軟式、男女の垣根を越え、一丸となって野球の普及・振興に力を尽くす、全国でも先進的な統括組織として活動を広げています

= 地域移行のサポートや
情報提供




II. 長野県北信地域（軟式野球競技）の地域移行の取り組み

長野市の取り組み

野球部顧問と地域指導者が行政
と連携して移行化へ

参考資料QRコード



	「Sクラブ」 犀陵中学校区に設立	「長野北部野球クラブ」 北部中学校区に設立
	Sクラブ	長野北部野球クラブ
設立者	<ul style="list-style-type: none">・野球部の外部指導者が中心・保護者や小学生年代の指導者も協力	<ul style="list-style-type: none">・指導を希望する顧問と地域の協力者・保護者や小学生年代の指導者も協力
経過	<ul style="list-style-type: none">・関係者によるビジョンの共有・規約、規則の策定・総会の実施、スポーツ保険の加入 等	<ul style="list-style-type: none">・関係者によるビジョンの共有・規約、規則の策定・総会の実施、スポーツ保険の加入 等
指導者	<ul style="list-style-type: none">・地域指導者（有資格者）・休日の活動に教職員が関わっていない ※希望する教職員は地域指導者として参加が可能（大歓迎！）	<ul style="list-style-type: none">・地域指導者（有資格者）指導を希望する教職員（職務ではない） ※市実施のアンケート調査も活用し、他校の教員も参加 保護者、保護者OB、U12指導者 等
活動場所	<ul style="list-style-type: none">・中学校の校庭を借用（学校と連携）	<ul style="list-style-type: none">・中学校の校庭を借用（学校と連携）
活動実態	<ul style="list-style-type: none">・平日は部活動、休日はクラブ活動 ※今後、平日の地域移行も検討	<ul style="list-style-type: none">・平日は部活動、休日はクラブ活動 ※今後、平日の地域移行も検討
大会参加	<ul style="list-style-type: none">・R5から中体連大会にSクラブとして 参加予定（犀陵中野球部としては不参加）	<ul style="list-style-type: none">・R5から中体連大会に北部クラブとして 参加予定（北部中野球部としては不参加）
その他	<ul style="list-style-type: none">・小学生との交流も積極的に実施・今後、他校の生徒も受け入れる	<ul style="list-style-type: none">・小学生との交流も積極的に実施・今後、他校の生徒も受け入れる

II. 長野県北信地域（軟式野球競技）の地域移行の取り組み

千曲市の取り組み

教育委員会を中心に、各校と連携して移行化へ

参考資料QRコード



千曲市・坂城町の事例

更埴地区では、坂城町教育委員会、千曲市教育委員会を中心に、各中学校と連携して検討

千曲坂城クラブ

他にも、部活動で設置されているスポーツ種目や文化芸術分野がある

例



- ・「更埴少年野球クラブ」（※以下、クラブ）としての規約を策定している
- ・教職員や地域指導者がクラブに登録し、各指導部の指導に携わる
- ・クラブとしてスポーツ協会に加盟→運営費等の支援を受けている
- ・平日は部活動、休日は指導部での活動を行っている（今後、平日の地域移行も検討）
- ・基本的には指導部ごとに活動しているが、月1回程度、クラブとしての活動も行っている
- ・軟連や中体連の大会には指導部ごとに参加する
→人数が揃わない指導部は「更埴少年野球クラブ」として参加するも可能としている

- 生徒の成長の場を確保してあげたい

＝学校教育活動の一環である部活動から移行するにあたって、生徒ファーストは絶対。人（生徒）を成長させるのは他人(周囲の大人や仲間)との関わりによって。すべての地域の生徒の成長の場を確保してあげたい。

- 指導者が時間的、経済的、身体的負担の少ない地域クラブへ

＝持続可能な地域クラブ運営のためには、指導者の負担を少なくする工夫は必須。ボランティアや善意に頼ってはいけない。誰かにとって都合の良い環境は、誰かにとって不都合な環境であってははいけない。指導者の心の余裕は、きっと生徒に還元される。

- 行政・学校・民間の連携は必須

＝まずは正しい情報の共有。誰かが手を上げたら、ではなく誰かが動かないと始まらない。はじまったら行政・学校・民間が参加しやすい雰囲気。